

御大典記念 特別展

「よみがえる正倉院宝物

—再現模造に見る天平の技—

令和3年4月20日(火)~6月13日(日)

九州国立博物館

特別展応援セミナー

よみがえる 正倉院宝物

再現模造にみる天平の技



正倉院宝物とは、奈良・東大寺の正倉に伝えられた約九千件におよぶ品々です。聖武天皇ゆかりの品をはじめ、その多くが奈良時代の作で、西域や唐代の中国からもたらされた国際色豊かな品々も含まれます。

正倉院宝物の模造製作は、明治時代から始まりました。現在、宮内庁正倉院事務所が主導する復元模造事業では、形はもちろん、同じ材料、同じ技法で当初の姿を再現する「再現模造」が製作されています。

セミナーでは、本展に出陳される正倉院宝物模造の逸品から天平の美と技をご紹介します。文化財を守り伝えるための模造製作の歴史やそれを支える伝統技術についてお話しいたします。

お申込方法:

九経調ホームページ(<http://www.kerc.or.jp>)
または QR コードよりお申し込みください。

★登録完了後、お申込確認メールが自動返信されます。(ご参加方法、参加用 URL、キャンセル方法記載)

★資料がある場合、開催時間 1 時間前に登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。

※1: ネット配信サービス「ZOOM」にてライブ配信致します。
事前のアプリインストール(無料)を推奨しますが、それが難しい方は、WEBブラウザ(Google Chrome)からご参加ください。

※2: 安定したWi-Fi環境下でご視聴ください。

※3: 参加者の映像・音声・お名前などは表示されません。

※4: 状況により、中止となる可能性があることをご承知おきください。

締切: 5月13日(木)17:00

※事前のお申込が必要です

参加費: 無料

定員: 50名(定員になり次第締切)



2021年 5月 14日 (金)

18:30~19:30

講師: 川畑 憲子 氏

(九州国立博物館 企画課特別展室長)

【講師プロフィール】

慶応義塾大学商学部、九州大学大学院文学研究科芸術学(美術史)専攻修了。2007年より九州国立博物館勤務。2020年より現職。専門は漆芸史。「きらめきで飾る一螺鈿の美をあつめて」「徳川美術館所蔵 国宝 初音の調度」等の展示を担当。

画像: 模造 螺鈿紫檀五絃琵琶(裏) 正倉院事務所蔵

主催: 公益財団法人九州経済調査協会

後援: 公益財団法人九州国立博物館振興財団

※BIZCOLIでのチケット販売はございません。九州国立博物館のホームページより日時指定チケット(事前予約)にてご購入ください。